

令和5年度 国語《第3学年》評価計画

学期	観点	評価資料	観点別評価の「B」を達成する基準	観点別評価に占める割合
1学期	【知】	A 定期考査	様々な言葉の特徴や使い方を理解し、使い分けることについて、50%以上の得点を取ることができる。	20%
		B 定期考査	具体と抽象等、情報と情報との関係について、50%以上の得点をとることができる。	20%
		C 小テスト	既習の漢字や常用漢字の一部を読み、書くこと、また文法事項等の小テストについて、50%以上の得点を取ることができる。	30%
		D ワークシート	情報の信頼性や確かめ方をおおむね理解し、活用することができる。	30%
	【思】	A 定期考査	様々な課題の文章を読み、表現されていることを捉えることについて、50%以上の得点を取ることができる。	27%
		B スピーチ	社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理してスピーチを行うとともに聞くことができる。	13%
		C 作文	社会生活の中から題材を求め、表現の仕方を工夫して文章をおおむね書くことができる。	15%
		D 作文	具体的な根拠や適切な資料を用いて、構成を工夫した文章をおおむね書くことができる。	15%
		E ワークシート（俳句）	俳句の形式をおおむね理解し、自分の経験を具体的に表現し、説明することができる。	10%
		F ワークシート（小説）	登場人物の心情や物語の展開のしかたなどを捉え、その意味について考えを述べることができる。	10%
		G ワークシート（論説）	論理の展開を理解し、文章に表れているものの見方や考え方について考えを述べることができる。	10%
	【態】	A ノート	学習内容を適切にまとめ、課題に対する自分の考えをおおむね書くことができる。	10%
		B ワーク	自己の課題を踏まえ、自ら計画を立てて学習を進めることができる。	30%
C 学習の記録		学習内容について自分の目標と取り組むべき内容を計画し、実行したことを振り返ることができる。	30%	
D 読書の記録		幅広い分野の図書について自ら計画を立てて選書し、読書内容について記録することができる。	30%	
2学期	【知】	A 定期考査	様々な言葉の特徴や使い方を理解し、使い分けることについて、50%以上の得点を取ることができる。	20%
		B 定期考査	具体と抽象等、情報と情報との関係について、50%以上の得点をとることができる。	20%
		C 小テスト	既習の漢字や常用漢字の一部を読み、書くこと、また文法事項等の小テストについて、50%以上の得点を取ることができる。	30%
		D ワークシート	情報の信頼性や確かめ方をおおむね理解し、活用することができる。	30%
	【思】	A 定期考査	様々な課題の文章を読み、表現されていることを捉えることについて、50%以上の得点を取ることができる。	27%
		B 話し合い	複数の話し手の考えと自分の考えを比較し、合意形成を目的とした話し合いを行うことができる。	13%
		C 作文	社会生活の中から題材を求め、表現の仕方を工夫して文章をおおむね書くことができる。	15%
		D 作文	具体的な根拠や適切な資料を用いて、構成を工夫した文章をおおむね書くことができる。	15%
		E ワークシート（小説）	登場人物の心情や物語の展開のしかたなどを捉え、その意味について考えを述べることができる。	10%
		F ワークシート（論説）	論理の展開を理解し、文章に表れているものの見方や考え方について考えを述べることができる。	10%
		G ワークシート（短歌）	歴史的な背景や語句の使い方や表現技法に着目し、それぞれの和歌の特徴を、おおむねとらえることができる。	10%
	【態】	A ノート	学習内容を適切にまとめ、課題に対する自分の考えをおおむね書くことができる。	10%
		B ワーク	自己の課題を踏まえ、自ら計画を立てて学習を進めることができる。	30%
C 学習の記録		学習内容について自分の目標と取り組むべき内容を計画し、実行したことを振り返ることができる。	30%	
D 読書の記録		幅広い分野の図書について自ら計画を立てて選書し、読書内容について記録することができる。	30%	

3学期	【知】	A 定期考査	様々な言葉の特徴や使い方を理解し、使い分けることについて、50%以上の得点を取ることができる。	20%
		B 定期考査	具体と抽象等、情報と情報との関係について、50%以上の得点をとることができる。	30%
		C 小テスト	既習の漢字や常用漢字の一部を読み、書くこと、また文法事項等の小テストについて、50%以上の得点を取ることができる。	30%
		D ワークシート	情報の信頼性や確かめ方をおおむね理解するとともに、書体の特徴をおおむね理解し、場面を踏まえて書くことができる。	30%
	【思】	A 定期考査	様々な課題の文章を読み、表現されていることを捉えることについて、50%以上80%未満の得点を取ることができる。	27%
		B 話し合い	複数の話し手の考えと自分の考えを比較しながら、意見をおおむねまとめることができる。	13%
		C メッセージポスター	紙面構成などを工夫し、伝える内容をおおむね明確に表現することができる。	17%
		D 作文	社会生活の中から題材を求め、表現の仕方を工夫して文章をおおむね書くことができる。	13%
		E 作文	具体的な根拠や適切な資料を用いて、構成を工夫した文章をおおむね書くことができる。	10%
		F ワークシート（論説）	論理の展開を理解し、文章に表れているものの見方や考え方について考えを述べることができる。	10%
		G ワークシート（詩）	詩の構成や表現のしかたを踏まえ、表現されている内容や見方について考えを示すことができる。	10%
	【態】	A ノート	学習内容を適切にまとめ、課題に対する自分の考えをおおむね書くことができる。	10%
		B ワークと記録	自己の課題を踏まえ、自ら計画を立てて学習を進めることができる。	30%
		C 学習の記録	学習内容について自分の目標と取り組むべき内容を計画し、実行したことを振り返ることができる。	30%
		D 読書の記録	幅広い分野の図書について自ら計画を立てて選書し、読書内容について記録することができる。	30%